

令和7年春の特別展

書物がひらく

江戸時代の出版文化

泰平



『源氏一統志』挿絵(葛飾北斎画)



『日本国開闢由来記』挿絵(歌川国芳画)



須原屋

出雲寺

令和7年3月20日 木・祝 ▶ 5月11日 日

入場無料・予約不要・期間中無休

開催時間：午前9時15分～午後5時
期間中の毎週金曜日は、午後8時まで閉館します。

会場：国立公文書館 東京本館 1階展示ホール

協力：TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館

<https://www.archives.go.jp/>



記録を守る、未来に活かす。

Facebook X(Twitter) YouTube Instagram



独立行政法人 国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2
TEL：03-3214-0621

江戸時代に確立された印刷技術は、大量印刷や増刷、挿絵の追加、多色刷りなどを可能にし、近世文学の多彩な表現を可能としました。こうして文化が花開く一方で、江戸時代は厳しい出版統制が敷かれ、人気の書き手たちはもちろん、出版を手がけた本屋も処罰されるなどの事件も起きます。そこには出版をめぐる複雑な歴史的背景がありました。本展では江戸時代の出版文化に着目し、近世文学作品を中心に、江戸時代に特徴的な版本の数々をご紹介します。

令和7年春の特別展

書物がびらく

江戸時代の出版文化

泰平

新刊吾妻鏡 (伏見版)

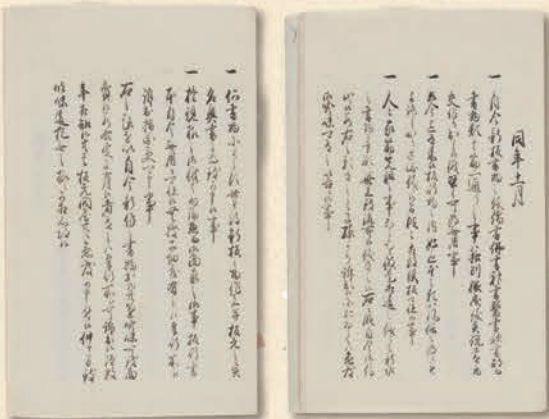


『吾妻鏡』は、鎌倉時代の歴史書。鎌倉幕府が公的に関わった編纂物と推定されています。源氏拳兵の治承4年(1180)から文永3年(1266)までの87年にわたる幕府の歴史を日記体に記述しています。

展示資料は、慶長10年(1605)3月、徳川家康(1542~1616)が征夷大将軍の職を辞す直前に出版されたもので、家康の命を受けた閑室元信(1548~1612)

が制作したものです。閑室元信(三要素元信とも)が伏見の円光寺の開山となったことから、彼が手がけた出版物には、「伏見版」の通称があります。内務省旧蔵。

御触書



『御触書』とは江戸幕府が編集した幕府法令集です。

展示箇所は、享保7年(1722)11月、江戸で出された5箇条からなる書物出版に関する「御触」。今後出版する書物への新説・異説掲載の禁止や、新規出版書物へ作者と本屋の実名を奥書に記載する事などが明記されています。本法令は幕末まで江戸・大坂・京都における出版界の基本法となりました。

展示資料は紅葉山文庫旧蔵。

日本国開闢由来記



日本の由来について、『古事記』『日本書紀』の記述を抄出して「読本」(中国の伝奇小説の影響を受けた長編の読み物)として仕立てたもの。天孫降臨から聖徳太子の登場までが描かれています。作者の平野元良(1790~1867)は江戸両国薬研堀に開業した医者です。絵師は武者絵を得意とした奇才歌川国芳(1797~1861)で、本書の出版は、国芳人気にあやかったものと思われます。

展示資料は万延元年(1860)版、昌平坂学問所旧蔵。

- 展示解説会** 日時：3月28日(金)、4月16日(水)、5月7日(水) (いずれも午後2時~) 事前申込制。詳細は国立公文書館 HP をご覧ください。
- 記念講演会** 事前申込制。詳細は決まり次第、国立公文書館 HP、SNS でお知らせします。
- 音声ガイド** 会場ではお手元のスマートフォン、タブレットから音声ガイドをお聴きいただけます。ご利用にあたっては、イヤホンをご準備ください。

原本特別展示 常設展示室で展示します。

- 「平成」の書 展示期間：3月17日(月)~3月30日(日)
- 「令和」の書 展示期間：3月25日(火)~4月6日(日)
- 日本国憲法 展示期間：4月25日(金)~5月6日(火・休)

予告：令和7年度第1回企画展「万博」(仮)
令和7年5月31日(土)~6月29日(日) ※6月16日(月)は休館。



〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL: 03-3214-0621
アクセス▶東京メトロ東西線竹橋駅下車[1b出口] 徒歩5分

